

クオリティ・オブ・ライフ

～ お客様にとっての思い出が、メディホスに刻まれる ～

STORY 1

まぐろのお寿司にこめた思い

S様 89歳 要介護5 癌末期

病状が進行し食欲を失われていたご本人様が、「まぐろのお寿司をもう一度食べたい」と希望されました。医療・介護スタッフが連携し、鮮魚店から寿司を用意。普段は起き上がるのもつらい中、笑顔で寿司を召し上がる姿に、周囲も心温まる瞬間となりました。



STORY 2

写真家の魂が再び動いた瞬間

T様 55歳 要介護5 ALS

病状進行により人工呼吸器を装着し、外出もままならずベッド上での生活となったT様。かつては愛用のカメラ片手に県内外の撮影地を巡る日々を生きがいとしていた。「もう一度、外出して写真を撮りたい」という願いを受け、医療・介護・関係機関と連携し準備を進めた。憧れの写真家の講演会にあわせ、小旅行を実現。会場では本人のもとに写真家が訪れ、愛用カメラで家族写真を撮影するという感動のサプライズも。本人とご家族の笑顔がすべてを物語っていた。



メディホスの事業は

感動を届けるホスピタリティです



実父が大腸癌の末期と診断された後、メディホスにお世話になりました。入居時、「生前葬のような集まりを開きたい」と相談したところ、施設の方々はもちろん、給食会社の皆様も快く協力してくださり、食堂で心温まる会を開催することができました。たくさんの方々が集まってくれて、父も私たち家族も幸せな時間を過ごすことができました。この忘れられないひときは、メディホスの手厚いホスピタリティがあっこそ。深く感謝しています。